



# 国指定天然記念物



伊平屋村は沖縄県の最北端にあり、東シナ海洋上に浮かぶ離島村です。那覇市から北方に117km、今帰仁村運天港より41.1kmの距離にあります。

伊平屋島と野甫島の2つの島からなり、晴れた日には、鹿児島県の与論島もみえます。豊かな自然に恵まれ、変わらぬ文化が生き続けており、約1,200人が暮らしています。

## ■主なイベント



ムーンライトマラソン



ヴィレッジトレイル

伊平屋ムーンライトマラソン  
いへやまつり  
豊年祭  
田名のウンジャミ  
我喜屋大綱引き  
伊平屋ヴィレッジトレイル

## ■特産品

黒糖  
泡盛（照島） 玉ねぎ  
米（ちゅらひかり）  
もずく アーサ 黒糖  
塩夢寿美  
てるしの一味  
うずまきもち  
マンゴー  
ドラゴンフルーツ

## ■観光名所

念頭平松  
天の岩戸  
久葉山  
無蔵水  
野甫大橋  
神アシャギ  
米崎海岸





## 伊平屋村の概要



沖縄県の最北端で、東シナ海洋上に浮かぶ離島村です。

村は、伊平屋島と野甫大橋で繋がれた野甫島の2つの島からなり、5つの集落に分かれています。

年間を通じて安定した温暖気候で、島の自然や歴史文化等の地域資源が豊富です。



## 伊平屋村の風土風習

伊平屋村は、日本史、琉球史に関わりの深い島と知られており、琉球五王統のうち、第一尚氏の祖先、屋蔵大主の産まれた島でも知られています。

また、太陽の神様『天照大御神』が洞窟に隠れたという天岩戸伝説。その伝説の最南端の地とされている場所でも有名です。



## 単身向け職員住宅



## 単身向け職員住宅



## 伊平屋村の住宅



近年、民間アパートが建設されたほか、職員住宅も9棟あり、特定専門住宅も建設されたほか、定住促進向け住宅も6棟建設されました。

## 移住者体験型住宅



# 伊平屋島



島に住む幸せ・島で働く笑顔・  
交流する島の活力  
～ 生きる幸せが実感できる島 ～



## 1) 生活環境

- ・交通 車・原付バイク・自転車/コミュニティーバス/タクシー/運転代行
- ・お買い物 商店 (件)
- ・医療 診療所 1 施設/歯科診療所 1 施設
- ・子育て 保育園 1 施設/幼稚園 1 施設/小学校 1 校/中学校 1 校/小中併設学校 1 校/学童 (わくわくクラブ) /無料村営塾 (てるしの塾) /子ども医療費助成 /渡航費助成 /離島高校生就学・修学旅行補助



## 2) 交通アクセス

- ・フェリーいへやⅢ  
運天港⇄前泊港 1時間20分  
毎日 2 便運航



## 3) 移住・定住支援制度

- ・体験型住宅 1 棟
- ・伊平屋村妊産婦通院交通費助成
- ・新規就農支援 (新規就農スタートアップ補助)

担当：人事担当  
譜久村 美波 (ふくむら みなみ)  
所属：沖縄県伊平屋村総務課  
電話：0980-46-2001  
✉： [minami@vill.iheya.lg.jp](mailto:minami@vill.iheya.lg.jp)  
HP： <https://www.iheya.okinawa.jp/>



### 【担当者より一言】

私の住む野甫島は、朝、出勤時には朝日に出会い、退勤時には夕日に出会える素敵な島です。豊かな自然に囲まれ、野鳥の鳴き声に癒やされ、雄大な海で過ごす休日は、格別に幸せを感じるひとときです。ぜひ、皆さんも素晴らしい自然に触れてみませんか。



## ■仕事内容

子ども医療 幼児・住民健診関係 予防接種 その他（母子福祉事業の渡航費等の事務手続き・管理）

## ■やりがい

最近まで赤ちゃんだった子どもたちがスクスク育ち、お兄ちゃん・お姉ちゃんに成長していくことに携われることや保護者と子どもたちの成長についてお話をすることも楽しいと感じています。

## 住民課

### 1日のスケジュール

- 8：30～ メールチェック  
窓口対応（終日）
- 12：00～ 昼食
- 13：00～ 事務作業  
書類整理
- 17：15～ 退庁



## ■きっかけ

父の赴任とともに妹も島へ。二人に勧められたことがきっかけで採用試験を受験しました。雲一つない星空と快晴の日に海を眺めることが、3年間変わらず、一番好きな時間です。

## ■大変な所

100人居れば100通り。住民1人1人の状況理解や1人1人に寄り添ったサービス提供をしていかなければならないが、様々な場面に臨機応変に対応することが大変だと感じています。

## ■仕事内容

伊平屋村立保育所で、保育士として働いています。

## ■やりがい

大好きな子どもたちから「先生大好き！」と言ってもらえた時や「もーもー先生！！」と私の元へ笑顔で走ってきた時は、今までの疲れも吹っ飛んでしまうほど「保育士をしていて良かった」と心から思います。私たち大人では気づかないような大発見をしたことを嬉しそうに話してくれることなど、子どもたちの成長が保育の幅を広げてくれ、とてもやりがいを感じます。

## ■きっかけ

放課後等児童デイサービスで勤めた後、もう一度、保育士として仕事をしてみようと思ったことがきっかけです。そう思った時期に伊平屋島の海に魅了され、移住を決意しました！

## ■大変な所

仕事上の大変さは感じていないですが、生活する上でフェリーに乗らなければいけないことが大変だと感じます。船酔いするので。早く慣れるように頑張ります！



## 伊平屋保育所

### 1日のスケジュール

- 7：30～（順次出勤）  
所内の安全確認、清掃、園児の健康観察等
- 7：45～ 園児受け入れ・合同保育
- 9：30～ 保育（各クラス）
- 11：00～ 給食
- 13：00～ 事務作業
- 14：45～ 保育
- 16：15～（順次退庁）

